

技術士業務研究会／2021年（令和3年）4月度オンラインWeb例会

☆開催日時：2021年（令和3年）4月9日（金）19:00～21:30

☆開催場所：ZOOMを使つてのWeb例会につき、各自のPC等で参加願います。

☆開会挨拶（19:00～19:05） 上田 修史 部会長

1. 総会（19:05～20:10）

2021年度総会

（別途、「通常総会案内及び委任状提出のご依頼」文章があります）

2. 講演会（20:15～21:20）

【ご講演タイトル】：

『 水素・アンモニアにより既存設備を有効利用して現実的な「脱炭素」をめざす 』

技術士（機械、電気電子、原子力・放射線、総合技術監理部門） 松永 健一氏

【ご講演概要】

菅義偉首相が2050年脱炭素を表明して以降、産業界はカーボンニュートラル（温室効果ガスの実質ゼロ）に向けて取り組みを加速している。2050年のカーボンニュートラルを目指すうえで、CO₂排出の多い電力業界と、次いで多い製鉄業の動向に注目が集まっている。一方、再生エネルギーの課題が次第に明らかになりつつある現在、CO₂を排出している設備の「低・脱炭素化」を模索することが、既存設備を有効利用しながら長期的に技術移転を進めることができるという意味で、技術的にも経済的にも現実的な選択のようである。

水素ガスタービン発電、水素燃料航空機、水素還元製鉄、アンモニア火力発電などの説明から、既存技術を踏襲しつつ改良する形での「低・脱炭素」を話題として、参加者の皆さんと議論したい。その水素とは、そもそも何か。時間があれば、「宇宙の進化」からも物理的に少し考えてみたい。カミオカンデの講演以来の話題となる。

☆業務研究会連絡事項など

☆ZOOMによるWeb例会に関するお知らせ

1) ZOOM会議

- ①カメラ・マイク・スピーカー付のPC、ノートPC（3点具備）またはスマホやタブレットの準備。
- ②会議に参加するだけの場合、ZOOMのダウンロードも会員登録も不要。アカウントの取得は事前に必要。

2) 参加方法

- ①「アカウント」の取得がまだの方は添付資料にしたがって、アカウントを取得して下さい。
- ②参加申込者に主催者（ホスト）から「ZOOMの招待メール」が前日までに送られます。
- ③アカウントがある方は、招待メールにある「長いURL」をクリックすれば、会議に参加できます。
- ④4月例会は総会を行います。会員は19:00前から入場、会員外の方は20:00～20:15にご入場下さい。

◇参加資格：技術士、技術士補、修習技術者の方なら、どなたでもお申し込みいただけます。

◇参加費：ZOOMによるWeb例会につき、業務研究会会員、会員外ともに当面无料。

◇申込：2021年4月6日（火）までに、下記業務研HPから申し込みをお願いします。
参加/不参加が未定の場合でも参加申込をしてURLを取得してください。

業務研HP <https://sites.google.com/site/gyoumuken/>

業務研究会 幹事 和田 克利 (gyoumuken@gmail.com)

【講師のご経歴】

講師氏名：松永 健一（まつなが けんいち）

【経歴】

出身 1950（S25）年8月生（68歳）富山県出身，神戸市在住。1973年3月 富山大学工学部機械工学科卒業

職歴 1973年4月 三菱重工業㈱入社。機械，原子力設計部門（神戸）及び本社（東京）勤務を経て，2009年4月西菱エンジニアリング㈱へ転籍。原子力技術サービス部長。大阪府立大学工業高専 非常勤講師。[現職] 2014年2月 三菱日立パワーシステムズ㈱ [現 三菱パワー㈱] 入社。関西支社 専任技術者（建設業法遵守担当）。(公社)大阪技術振興協会 理事。大阪府立大学工業高専 非常勤講師

資格 技術士（機械，電気電子，原子力・放射線，総合技術監理部門）。労働安全コンサルタント。米国プロジェクトマネジメント協会（PMI）認定 PMP（Project Management Professional）。システムアドミニストレータ（初級）。第三種電気主任技術者

専門 電力・エネルギーシステム設備，物流機械，原子燃料の取扱・輸送・貯蔵技術，MOX 燃料加工技術。エネルギー・資源論

所属学協会など 日本原子力学会，日本機械学会，電気学会，電気設備学会，日本技術士会，(公社)大阪技術振興協会，京都技術士会，米国 PMI

渡航歴 米，カナダ，英，仏，独，伊，オランダ，スイス，ルクセンブルグ，スウェーデン，フィンランド，スペイン，ハンガリー，オーストリア，チェコ，韓国

趣味 日本古代史，古神社・古墳巡り